



## ロータリーは世界をつなぐ

事務局 四国中央市金生町下分789-1 四国中央商工会議所内  
 http://www.iyomishima-rc.jp TEL(0896) 58-3530  
 E-mail:iyomis@iyomishima-rc.jp FAX(0896) 58-6294  
 例会 金曜日 12:10~13:10  
 ■会長/青木良臣 ■幹事/藤田浩晃 ■広報委員長/今村定生

Rotary Connects the World  
*Heidi Maloney*  
 2019-20年度国際ロータリー会長

No.34  
 令和2.2.21  
 第3183回

## I M 報 告

### 2019-2020年度 インターシティ・ミーティング（IM）報告

伊藤 誠 史



2月15日、インターシティ・ミーティングに参加させて頂きました。IM参加は初めての事でしたが、昨年の地区大会の時よりは落ち着いた気持ちで参加できた様に思います。IMとはどういうものだろうと臨みましたが、ホストクラブがテーマを決めて勉強・研修を行い、クラブやロータリアンのスキルアップに繋げていく会であると理解致しました。

今回のテーマは「人生100年時代 ～老々介護・認知症になっても楽しく見る～」日本の高齢者社会への対応や実情、また介護・看護への取り組み方について、新居浜南RCの会員である伴野かよ子さんが訪問看護ステーションを運営されている視点から講演をされました。後半のディスカッションでは、参加9クラブによる、自分の立場や経験をもとに超高齢化社会への対応や介護・看護について、それぞれの視点で発表がありました。私の場合、両親の介護経験と葬儀会社経営という視点で考えてみますと、以前に亡くなった母が4年間は介護が必要な状態でした。その頃は父が元気でおりましたので、私は父のサポートのような介護生活でした。姉は海外におりますので母の介護をすることが無く、心のどこかで感情や思いに違和感を持ったことを覚えております。父の介護生活は5か月と短かったという事もあります。離れている姉と密にコミュニケーションを取り合いながら、感情や思いを共有出来た様に思います。葬儀のお手伝いをしておりますと、御家の込み入った話を聞くこともよくあります。御家の話を聞いて思うことは、実際に介護に携わった人と離れていて介護に関わっていない人では、話すことも・感情も・思いも、少し違うよう

に聞きます。母が亡くなった時の私と姉と同じ様です。その違和感をなくすためには“お互いでコミュニケーションをとること”それと“お互いを受け止めてあげる気持ちを持つこと”が大事であると実感しております。私たち葬儀会社は亡くなった後のご遺族のお手伝いが中心であり、当たり前のことではありますが、人はいずれ終焉を迎えます。ただ、それまでをどう過ごすかということが一番大事であって、その過ごし方で後々の感情も気持ちも影響されるということ。“介護をする“これは本当に大変なことです。”介護される人が健やかに過ごせて、介護する人達が楽しく見る”というのは理想論かもしれません。でも“そういう環境にして行くためにはどう取り組むか“を皆が考えていくことで近づくのだと思います。“優しさ・気遣い・受け止める心”を大切に、私自身も“介護される人・介護する人・看護をする人達”に思いやりを持っていきたいと、今回IM参加で考えました。ありがとうございます。

### 国際ロータリー第2670地区 愛媛第1分区 IM出席報告

清 家 敏 満



2月15日に新居浜市で開催されました、インターシティ・ミーティングについて報告します。

来年度は伊予三島ロータリークラブがホストクラブになるということですので、来年度を想定したホストクラブとしての視線で感想を報告いたします。

今年度は新居浜南ロータリークラブの19名という少人数で、事前準備や当日の駐車場案内・会場へのエスコートなどの運営を行っており、かなりの労力を要したと推測しました。そして何よりもこのIMを左右させるのが、フォーラムテーマの設定にあることを痛感しました。私は出席していませんが、昨年度のテーマは「ロータリー・心の原点基本に返ろう」という、会員増強や奉仕に関するテーマであったのに対し、今年度は女性の立場から時代の流れに合ったテーマを採用したということで、流石、女性委員が多いクラブの特徴を出していると感じました。ディスカッションでは、少し重たい話もありましたが、現実を見つめ直す良い機会となり、また、医療従事者の方々の意見も参考になりました。

来年度はテーマの選定からはじまりハード・ソフト面の準備など、相当な労力が必要であることは認識しています。私には何が出来るのか未知の世界ではありますが、委員全員で協力しなければいけないとの思いを高め、2年目にしてホストクラブを経験することができることは幸運だと感じました。

#### 追記

認知症介護方法の一つに、失われぬものに焦点をあてていく「バリデーション」というのがある。

これは、症状が進んでも感情は最後まで残る、その感情に焦点を当てたケアのことである。

ストレス解消、穏やかになる、信頼関係が生まれる等の効果があり、傾聴・共感し、誘導しない、受け入れ、嘘をつかない、胡麻化さない態度で接することが必要。

テクニックとして、タッチ（母のタッチ・父のタッチ・子のタッチ・友のタッチ）が有効

\*タッチに関しては、皆さん興味津々でした。（笑）

### 2019-2020年度 インターシティ・ミーティング（IM）報告

井 上 香 奈 子



この度、第2670地区愛媛第一分区インターシティミーティングに参加させて頂きました。今回のフォーラムのテーマは人生100年時代・超高齢化社会への対応についてというテーマで介護を実際に体験された方や現在介護をされている方である当事者と専門家の二つの立場からの説得力のあるお話を拝聴できましたので報告をさせていただきます。

今回の基調講演である「人生100年時代 老老介護 認知症になっても楽しく見る」伴野かよ子先生の講演では現在介護職員の人手不足が問題で松山では施設を閉鎖することが多いと言われておりました。整形外科の間でも介護職員の腰痛は以前から問題になっていて体調を崩し辞めていく介護職員も多くいらっしゃるという話を伺いました。

また平均寿命と心身ともに自立し、健康的に生活できる期間である健康寿命との間には約10年のラグがあり、



健康寿命を上げるためにもっと訪問看護を利用してほしいとお話がありました。ケアマネージャーさんはなかなか訪問看護を利用してくれないとお話もありました。私は12年前から四国中央市の介護認定審査委員をさせていただいておりますが、訪問介護というサービスの内容を詳しく知りませんでした。伴野先生がおっしゃっていた対象者にリンパマッサージを丁寧にして入浴介助も行い、看護師として認知に向き合うサービスをされていることを実際に知っている方は少ないと思います。現在、私のところに来ていただいている患者さんの介護認定者のほとんどが通所リハビリテーションを利用され、訪問看護を利用しているのは点滴など在宅で何らかの処置が必要な極少数の患者さんたちです。詳しく調べてみると対象者の制限は厳しくなく通院困難でなくても訪問看護のサービスを受けられることや私たち医師が必要だと判断した場合は受けられるということなどは医療関係者でも意外と知られていないことですのでこの機会にまずは関係者などで話し合う機会を設けてみたいと思います。

またバリデーション技法に関するお話もしていただきました。バリデーションは、「確認する」「強化する」の意味がありますが、認知症の人の感情レベルに訴えかけ共感することでコミュニケーションを図るテクニックです。認知症になると喜怒哀楽といった感情まで奪われると思込んでいる人は多いのですが、臨終直前の最期まで感情面は残ることが分かってきています。バリデーションを使えば、初期から末期の認知症の人までどの段階でも意思の疎通が可能になるといわれています。「傾聴」と「共感」をベースにその人の本来の気持ちを引き出すコミュニケーションは、認知症の人と心を通わせるために欠かせないものだと思います。講演ではテクニックとしてタッチングや音楽を使う、はっきりと低く暖かい声で話すなどの方法やその効果についても紹介していただきました。

基調講演のあとはフォーラムが開催され各クラブより発表がありました。当伊予三島ロータリークラブからは大西英彦会員が発表してくださいました。ご自身の介護の経験のお話で大西会員のお嬢様が面会に行った際にお母様が嬉しそうにされていたとお話を伺い、私も大学時代に千葉の施設に入所していた祖母のことを思い出しました。面会に行くともう私が誰なのかわからない状態で決して嬉しそうには見えないのですが、施設の職員の方が今日は落ち着いていますよ。嬉しそうですよ。とよく言われていました。この頃は全然嬉しそうじゃないし、社交辞令なのかと思っていましたが、亡くなったあとにいつもは暴れたり暴力をふるったりと散々だったと話を聞きました。私は近くに住んでいたのにもう認知が進行して私のこともわからないからと面会に行くのを渋っていたことを後に後悔したことを思い出しました。また今治北ロータリーの脳外科の武田先生がおっしゃっていた外来で認知症患者さんをみていると娘や息子は患者さんに厳しく接する人が多いと言われていました。これからいつかは訪れる介護という問題に直面するまで忘れずに心に留めておきたいと思います。

第3183回 例会 記 録 令和2年2月21日

開会 青木良臣 会長

幹事報告  
・愛媛第一分区瀧山一甫G補佐～IMご参加のお礼

出席報告

出席会員（31名中） 27名  
出席率 90.00%  
第3181回修正出席率 100%

例会行事  
IM報告

会長の時間

○国際ロータリー～PHF証明書・ピン  
山内一正 会員、井原 伸 会員

ニコニコ紹介  
青木良臣会長～先日、2/15のIM、会員の皆様多数出席ありがとうございました。本日、出席報告よろしくお願ひします。  
別府 偉出席委員長～100%出席ありがとうございました。



3月6日プログラム予定

米山奨学委員会